




子どもの水辺安全セミナー
海と日本プロジェクト2021

幼児教育の現場から発信する 水辺の安全

～楽しく安全な水遊びを どう伝えるか～





子どもの水辺 安全セミナー
幼児教育の現場から発信する
水辺の安全

本日のプログラム

13:00	基調講演 (20分) 社会福祉法人龍美ハッピードリーム鶴間 園長 土橋一智さん 「幼児教育の現場から発信する 水辺の安全」	14:10	水辺の安全〇×クイズ(30分) 子ども安全管理士協会 YOKOHAMA プラムネット(株)アウトドア共育事業部 統括リーダー 渡辺直史
13:25	トークセッション (40分) 社会福祉法人龍美ハッピードリーム鶴間 園長 土橋一智さん ジャーナリスト 名寄市立大学特命教授 明福寺ルンビニー学園 幼稚園・保育園 副園長 猪熊弘子さん	14:40	関連サイトの紹介 (15分) 子ども安全管理士協会 YOKOHAMA 学校法人 国際代々木学園 日本デザイン福祉専門学校 准教授 宮野由紀子
		14:55	ごあいさつ 一般社団法人 吉川慎之介記念基金 代表理事 吉川優子
		15:00	終了予定




子どもの水辺安全セミナー
海と日本プロジェクト2021

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

水辺の安全を学び、伝える きっかけに！
詳しくは、最後の「関連サイト紹介」を参照ください

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

問題：

溺水予防や水辺の安全対策は、監視体制を整える
だけで十分である。

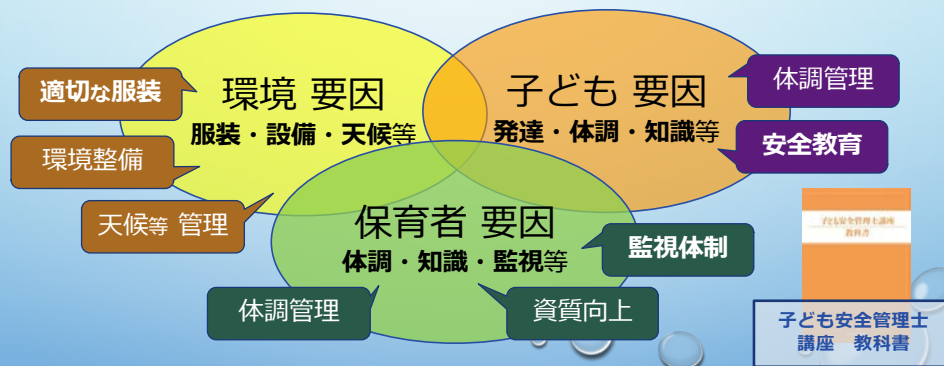



水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

解説：

水辺の安全対策は、**3つの視点**からアプローチしよう！

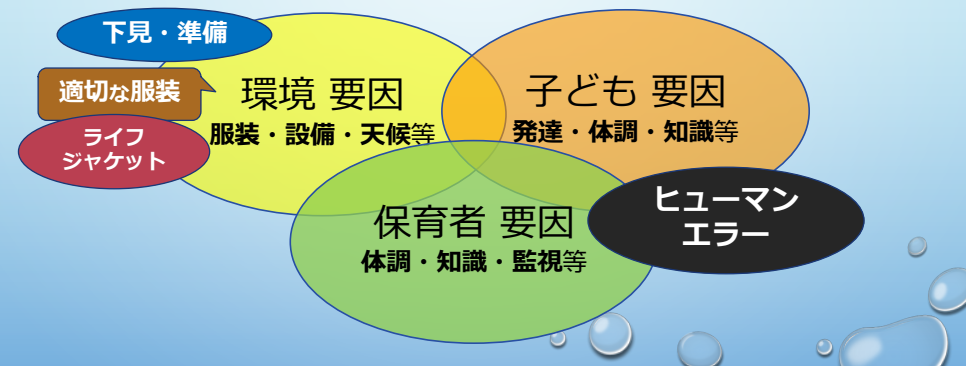


水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

解説：

水辺の事故予防は、**3つの視点**からアプローチしよう！



水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

解説： ライフジャケット選びのポイント

シークレットゲスト！

森重裕二さん
(ライジャケサンタ)



水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

安全教育の例： 海では...

- ・人を沖へと連れ去る流れ 「★離岸流」
- ・陸から海に向かって吹く風 「★オフショア」
- ・ゆるやかな海面上昇 「★満ち潮」
- ・海辺の「危険生物」について 水中・陸上
- ・地震発生時、「津波を回避」するための行動

★イラスト：水辺の安全学習アプリ (B&C財団)より

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

安全教育の例： 川では...

- ・晴天時の増水「★上流での降雨」「ダムの放水」など
→ 遊泳場所にある「看板」には必ず目を通す
- ・近づいてはいけない場所 ...「深み」や「★えん堤」など
→ 「活動範囲」... 下見はその周辺と水中も

★イラスト: 水辺の安全学習アプリ (B&G財団) より

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

足を下流に向けて流される

安



水辺の安全ハンドブック (河川財団) より

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

安全教育の例： プール、水遊びでは...

- ・近づいてはいけない場所
→ 「排水口」「浮島(大型ビート板)の下」など
- ・監視の先生と一緒に遊べない(みんなの命を守る役)
- ・水遊びのルール = 海・川・プール共通
→ 遊泳範囲、休憩の合図、点呼の方法
→ 禁止事項: 飛び込まない・走らない... など

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

保護者への発信と協力依頼

- ・水遊びの目的、方法、安全対策、中止の事故発生時の対応等

- ・協力依頼

① プール・水遊びの服装
(帽子・ラッシュガード・マリンシューズ + ライフジャケット)

水辺の安全
ハンドブック
(河川財団) より



水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

保護者への発信と協力依頼

- ・水遊びの目的、方法、安全対策、中止の判断基準
事故発生時の対応等 ... 保護者と情報共有
- ・協力依頼
 - ①プール・水遊びの服装
(帽子・ラッシュガード・マリンシューズ＋ライフジャケット)
 - ②体調管理 (睡眠、食事、排便、体温、疲労 など)
- ・家庭での海・川・プール等 水遊びの注意喚起

子どもの水辺安全セミナー
海と日本プロジェクト2021

水辺の安全 ○× クイズ！

活動編

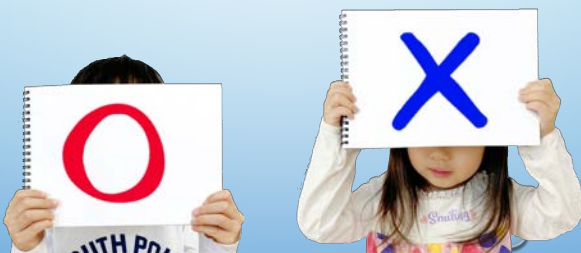
水辺の安全を学び、伝えるきっかけに！
詳しく学びたい人は、最後の「[関連サイト紹介](#)」を参照ください

水辺の安全 ○× クイズ！

活動編

問題：

子どもの溺れはバシャバシャともがくことから、
まず見逃すことはない。



水辺の安全 ○× クイズ！

活動編

解説： 溺水予防と監視について

- ・溺れた時、大きな音や声を発するとは限らない
- ・「静かに溺れる」ことを前提とした監視が必要
 - 監視者は**監視に専念** (腕章・ビブス)
 - 視線を動かして**全体を監視**、死角をつくらない
 - **水中も監視** (必要なら立ち位置を変える)
 - **音にも** 注意する (急に静かになった時)
 - 監視者の**交代** (15分毎)

ガイドラインの遵守
(厚労省・消費者庁)

水辺の安全 ○× クイズ！

活動編

溺水以外のリスク 例：

- ・気象状況による受傷
→「熱中症」「低体温症」「日焼け」「やけど」「落雷」など
- ・生き物による受傷
→「ハチ類」「毒ヘビ類」「トビ」「水中生物」など
- ・動きに伴う受傷
→「転倒」「飛び込み・落下」「激突(ターザン・パドル)」
- ・感染症
→「咽頭結膜熱(プール熱)」 など

子どもの水辺安全セミナー
海と日本プロジェクト2021

水辺の安全 ○× クイズ！

救命編

水辺の安全を学び、伝えるきっかけに！
詳しく学びたい人は、次の「関連サイト紹介」をご参照ください

水辺の安全 ○× クイズ！

救命編

問題：

子どもの溺水の救命処置では、できれば人工呼吸も行なった方が良い。



水辺の安全 ○× クイズ！

救命編

解説： 子どもの溺水の救命処置

- ・子どもによくある「呼吸原生」による心停止の救命処置
→子どもは**人工呼吸の必要性**が比較的高い。
→コロナ禍では、意思があれば胸骨圧迫と人工呼吸を。
ためらいがあれば、胸骨圧迫だけを。(厚労省HPより)
- ・救命処置は、「乳児」「小児」「成人」などの**年齢区分**によって**手技が若干異なる**。
→子どもの処置を学べる救命講習の受講を。
例) 上級救命(消防庁)、MFA チャイルドケアプラス
EFR ケアフォーチルドレンなど

水辺の安全 ○× クイズ！

活動編

事故発生時のための備え 例：

- 溺水者への対応確認（海・川・湖 等の場合）
（救助要請、浮くものを投げる、声をかけ続ける、見守り続けるなど）
- 救命処置～救急隊へ引き継ぎ までの準備
 - ・ 処置を行う場所の確認
→ 安全で、乾いた硬く平らな地面、AEDや救急車へのアクセス等 確認
 - ・ 処置を行う場所に準備するもの
→ タオル、携帯電話、感染予防具、連絡先リストなど
 - ・ 役割分担の確認
→ 救命担当、連絡係、記録係、救急隊の誘導、他の子どものケア など
 - ・ 水辺の救命処置トレーニング
→ 小児救命講習の受講、ロールプレイ訓練 など

バスマット・たたみ

子どもの水辺安全セミナー
海と日本プロジェクト2021

水辺の安全 ○× クイズ！

準備編

活動編

救命編

おわり

詳しく学びたい人は、この後の「関連サイト紹介」を参照ください